



看護局いきいき通信



編集委員：嶋矢 北西 上辻
発行責任者：田中早苗

令和4年1月発行(年3回発行)

新年あけましておめでとうございます。令和も4年目を迎えました。今年も、引き続き看護局の動向を伝えていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新人看護職員ローテーション研修

★二部に分かれて、新人看護職員ローテーション研修に行ってきました！

タブレット面会始めました！！

新型コロナウイルス感染防止対策により、当院では面会を全面禁止にしています。患者さんに少しでも安心して入院生活を過ごしていただくために、タブレット面会の準備を整え2021年9月から実施しています。

ご高齢の患者さんなど、スマートフォンに不慣れな方には来院された際に看護師がタブレット面会をサポートさせて頂いています。タブレット面会を実施し患者さんからは、顔が見られ、話せることを大変喜んで頂いています。

産婦の分娩時の面会については、面会希望を確認させて頂き、ご本人のスマートフォンを使用し、写真撮影をお手伝いさせて頂いています。

新型コロナウイルス感染については刻々と変化する状況の中、最新の情報をもとに院内感染予防策を考えながら柔軟に対応していきたいです。



院内トピックス

★秋からとろみ自動調理サーバー導入しました

地域包括ケア病棟では、誤嚥予防としてとろみ茶を利用する患者さんが多くいらっしゃいます。これまでは家族さんにとろみ粉を購入してもらい、患者さんに合わせてとろみ茶を作成していました。購入されたとろみ粉はメーカーが違うものが多く、またスタッフが手作業で作っていたため、濃度にばらつきがでることもありました。とろみ自動調理サーバーが設置されてからは、とろみ茶を同じ濃度で作成することができ時間短縮になりました。また、とろみ茶の段階を調整できることで患者さんの嚥下状態に合わせたとろみ茶を作成できるようになりました。とろみ自動調理サーバーのとろみ茶は、濃度が均一なため患者さんからも大変好評です。



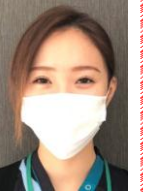
★看護部会よりお弁当の配布がありました

コロナ禍以前は、毎年お食事会や果物狩りを開催していました。しかし、コロナ禍では皆が集うことができず、今年度は「鰯割烹 AIKAWA-あい川-」のお弁当を配布することになりました。277名のスタッフの申し込みがあり、美味しくいただきました。



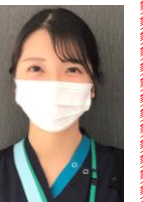
新看護職員ローテーション研修へ行き、治療や検査についての実際の流れから根拠と結びつき、知識が深まり、継続した看護を行うには2A病棟ではどのような看護が必要であるか、他部署との連携をとる際に大事な点を学ぶことが出来たので、これから働くにあたり活かしていきたいです。

2A病棟 H Ns



新人看護職員ローテーション研修を通し、各部署の特殊性や看護技術を学ぶことができ、今後自部署で看護を行うにあたり活かしていけると思いました。ローテーション研修で学び深めることができ、この期間は貴重な体験ができました

2A病棟 K Ns



新人看護職員ローテーション研修では各病棟や部署の役割や特殊性、他部署との連携について学び、自部署で経験できない看護技術の見学や実施をさせて頂きました。また、自部署との繋がりや学んだことを自分の知識として活かし、自部署での看護に繋げていきます。

2A病棟 I Ns



WLBの取り組み

★育児休業から復帰された看護師さんに話を伺いました。

3度の育児休業をとらせて頂き、手術室、外来、HCUと色々な部署を経験して現在は整形外科病棟で楽しく勤務させてもらっています。子供達が大きくなり、少しゆとりをもって勤務できるようになりました。休みの日にはゆっくり子供達との時間を持つこともでき、アウトドアをして楽しむ事が増えました。子供が小さい間は色々大変なこともありましたが、夫婦で同じ職場なのでお互いの環境を理解し協力しあって仕事と家庭を両立することができています。師長さんを初め、病棟スタッフと充実した毎日を送らせていただいています



5階病棟 A Ns

★コロナ禍で働く妊婦さんに話を伺いました。

私は整形病棟で勤務しており、直接的に疑似症の患者さんやコロナ陽性の患者さんの対応をする訳ではありません。しかし看護師として働くということは、感染のリスクはつきものです。毎日ドキドキしながら働いています。妊娠する前もコロナ感染を心配しながらプライベートにも気を遣い生活していましたが、妊娠して守らなければならない命が増えてから更に感染予防を意識するようになりました。常に感染予防を意識して生活することと、妊娠して目まぐるしく変わる自身の体調にも向き合わなければいけない状況はかなりの負担になるのですが、毎日元気に過ごせているのは周りのスタッフの支えがあったからこそだと実感しています。気兼ねなく働きやすい環境を作ってくれるスタッフ皆様に感謝しつつ、これからも感染に注意しながら残りわずかのマタニティライフを自分らしく過ごしていきたいと思います。

5階病棟 M Ns